

CI インサイトレポート

－ AD －

【 目次見本 】

§ レポート全体概要

調査対象疾患	A D（アトピー性皮膚炎）			
調査ポイント	Bio （生物学的製剤）	➤ デュピクセントの製品評価・処方動向・ヒット要因を分析！ ➤ ネモリズマブ、トラロキヌマブ等の新規薬剤のポテンシャルを検証！ ⇒ Bio内のポジショニングを徹底予測（デュピクセントに次ぐBioは？）！		
	J A K 阻害薬	外用薬	➤ コレクチムの処方動向・臨床上でのポジショニングを予測！	
		経口薬	➤ 治療薬としてのポテンシャルを薬剤別に検証！ ➤ 処方動向・臨床上でのポジショニングを予測！	
	将来動向	<Bio、JAK等の新規薬剤の処方動向予測を踏まえた上で> ➤ <u>AD治療のパラダイムシフトを徹底予測！</u> （乾癬市場の様に、Bio中心の市場にシフトするか？）		
対象薬剤 * 調査重点薬剤	既存薬	外用薬	ステロイド、タクロリムス	
		Bio （生物学的製剤）	デュピクセント（デュピルマブ）	
	新規薬剤 （開発薬）	外用薬	・JAK阻害薬 ・PDE4阻害薬	コレクチム（デルゴシニブ） ジファミラスト、クリサボロール
		経口薬	・JAK阻害薬 [JAK1/2] [JAK1] ・H4受容体アンタゴニスト	バリシチニブ <オシメント> ウパダシチニブ <リンゴフォク> アブロシチニブ ZPL389
		Bio （生物学的製剤）	・抗IL-31 CIM331/M5250 ・抗IL-13 LP0162 ・抗OX40 KHK4083 ・抗TSLP AMG 157/MEDI9929 ・抗IL-36 BI 655130 ・抗IL-23 ABBV-066	ネモリズマブ トラロキヌマブ Tezepelumab Spesolimab リサンキズマブ <スクリージ>

§ レポートPart別概要

調査種類	Part I データ分析編	Part II 定量調査編	Part III KOLヒアリング編
調査手法	(オープンソースを基にした) データ分析	インターネットによるWEB調査	デプスインタビュー
調査対象医師/ 対象医師数	—	AD患者を診療している医師 計 198名 ＜内 対象薬剤治験参加医 42名＞ [対象医師内訳] Bio User 113名 Bio Non-user 85名	AD TOP KOL 3名 ＜関連学会 役員・委員＞
調査対象診療科 ＜施設種類＞	—	皮膚科＜HP/GP＞	皮膚科＜HP＞
調査内容	<p>＜既存薬＞ プロフィール、作用機序・特性、 薬価、販売高推移、臨床試験、 関連論文</p> <p>＜開発薬＞ プロフィール、作用機序・特性、 臨床試験、関連文献</p> <p>＜その他＞ 注目企業動向、学会情報</p> <p>＜別添＞ 抄録集（関連論文）</p>	<p>＜既存薬＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 外用薬処方状況 ● デュピクセントの処方動向 *1 ● デュピクセントの製品評価 *1 ● 今後のデュピクセントの処方予定 *2 <p>＜新規薬剤（開発薬）＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ JAK外用薬 コレクチム ● 上市後の処方動向 ● 臨床上的でのホジショニング予測 ◆ JAK経口薬 ● 治療薬としての印象 ● 投与前スクリーニング検査の影響度 ● 処方動向・臨床上的でのホジショニング予測 ● 新規薬剤参入後の薬剤処方動向の変化 等 <p>* 一部の項目を除き、項目全般で、 Bio UserとBio Non-User別に分析 *1: Bio Userのみ / *2: Bio Non-Userのみ</p>	<p>＜既存薬＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ● デュピクセントの製品評価・処方状況 ● デュピクセントのヒット要因 ● デュピクセントの処方動向予測 * <p>＜新規薬剤（開発薬）＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ JAK外用薬 コレクチム ● 製品評価、上市後の処方動向 ● 臨床上的でのホジショニング予測 * ◆ JAK経口薬 ● 薬剤（3剤）別製品評価 ● 投与前スクリーニング検査の影響度 * ● 処方動向・臨床上的でのホジショニング予測 * ● 新規薬剤参入後の重症度別パラダイムシフト予測 * <p>等</p> <p>*の項目は、国内全体の将来動向についての 検証/予測を含む</p>
調査実施時期	2020年 1月～3月		
体裁／頁数	Part I・・・PPT（or EXCEL）、Part II & III・・・PPT / A4 計約400ページ（報告書本編のみ、別添は含まない）		
レポート価格	フルセット＜3パート＞ 180万円（税別） *Part別販売 可		

< Part I データ分析編 目 次 >

§ 調査概要	3
--------	---

I. 既存品	4
1. プロファイル	5
2. 作用機序・特性	14
3. 薬価	32
4. 販売高推移	44
5. 臨床試験 (UMIN)	46

II. 開発品	52
1. プロファイル	53
2. 作用機序・特性	59
3. 臨床試験 (JAPIC)	64

III. 関連企業動向	71
-------------	----

IV. 学会情報	77
1. 日本皮膚科学会	78
2. 日本皮膚免疫アレルギー学会	86
3. 日本小児皮膚科学会	90
4. 日本臨床皮膚科医会	92
5. アトピー性皮膚炎治療研究会	96

V. 関連文献	99
1. 既存品	
1-1. 既存品・製品別	100
1-2. 既存品・複数	109
2. 開発品	
2-1. 開発品・製品別	111
2-2. 開発品・複数	122
3. 既存品+開発品	125

< Part II 定量調査 要約編 目 次 >

	ページ
§.調査概要	3
§.回答者プロフィール	4
§.Executive Summary	5
§.Summary	15
1) 診療状況	16
2) 治療薬の処方状況・評価	18
3) デュピクセントの処方状況・評価	35
4) デュピクセントの認知状況/今後の採用・処方意向	46
5) JAK阻害薬の認知状況・剤型別処方意向	50
6) 開発薬の認知状況・処方意向・期待内容	62
7) 今後の薬剤処方動向	78
8) 新薬開発のニーズ	98

Bio User対象の設問 / Bio Non-user対象の設問

* 各ページ右上の **Bio User** **Bio Non-user** は
その設問の対象医師群を示す

< Part II 定量調査 結果編 目 次 >

	ページ
§.調査概要	3
§.回答者プロフィール	4

Bio User対象の設問 / Bio Non-user対象の設問

§.調査結果	5
1) 診療状況	6
1.診療患者数（人/3ヶ月）	7
2.年齢層別診療患者数	8
3.重症度別患者数（15歳以上）・治療実施状況	10
4.乾癬治療における生物学的製剤の承認状況	13
2) 治療薬の処方状況・評価	14
1.薬剤別処方状況	15
2.ステロイド外用薬のランク別処方状況	27
3.全身療法の優先順位	39
4.全身療法の満足度	46
3) デュピクセントの処方状況・評価	53
1.処方開始時期	54
2.処方実態	55
3.処方に至らなかった要因	57
4.処方患者の前治療	61
5.投与形態別処方状況	65
6.製品評価	69
7.在宅自己注射への切り替え意向	74
8.処方中止状況	75
9.今後の処方動向	80
4) デュピクセントの認知状況/今後の採用・処方意向	83
1.認知状況	84
2.所属施設の採用状況・処方予定	85
3.所属施設の採用予定・採用予定時期・対象医師の処方意向	86

	ページ
5) JAK阻害薬の認知状況・剤型別処方意向	92
1.JAK阻害薬の認知状況	93
2.JAK阻害薬の印象	94
3.JAK外用薬 コレクチムの処方意向	98
4.コレクチムの参入により処方動向に影響が出る外用薬	102
5.スクリーニング検査別JAK経口薬の処方意向への影響度	105
6.スクリーニング検査の有無別JAK経口薬の処方意向	109
6) 開発薬の認知状況・処方意向・期待内容	113
1.薬剤別治験参加状況	114
2.薬剤別認知状況	116
3.薬剤別処方意向・期待度	126
4.薬剤別期待ポイント	141
7) 今後の薬剤処方動向	161
1.痒みの軽減を訴求ポイントとした新規生物学的製剤の必要性	162
2.生物学的製剤の第一選択剤として重視する内容	163
3.生物学的製剤全体の処方動向と臨床上で必要な薬剤数	170
4.薬剤数の増加に伴う生物学的製剤の処方意向の変化	173
5.スクリーニング検査の有無別臨床に必要なJAK経口薬の薬剤数	174
6.外用療法の優先順位	177
7.全身療法の優先順位	192
8.外用療法の処方動向	212
9.外用療法と全身療法との治療動向の変化	213
8) 新薬開発のニーズ	215

* 各ページ右上の **Bio User** **Bio Non-user** は
その設問の対象医師群を示す

< Part Ⅲ K O Lヒアリング編 目 次 >

§ 調査概要	3
§ Summary	5
§ 調査結果	13
1. デュピクセントの製品評価・処方動向	14
2. JAK外用薬 コレクチムの処方動向予測	20
3. JAK経口薬の処方動向予測	24
4. 新規薬剤（開発薬）の評価	28
5. 外用療法の将来動向予測	32
6. AD治療の将来動向予測	34